

# 「あなた」から見られるキャラクター性について

## —「品位」の観点から—

都賢娥(北海道大学大学院生)

### 1. はじめに

日本語は対称詞の種類が豊富な言語であり、人称が述部との一致を求める文法的制約もないため、対称詞の使用には話し手の選択意図が反映されると考えられる。その中でも、その使用が複雑だとされている「あなた」に関しては、普段の話し手と聞き手における関係や発話場面とは異なる場合での使用が多いと言われている(小林, 2016; 米沢, 2016)。また、「あなた」を含む「あんた、きみ、おまえ」などのような語類は、既知関係の人物に対する無標の聞き手指示形式としての使用が考えにくい。澤田(2019)では、普段使用している無標の人称指示形式から有標の指示形式へと「カテゴリー転換」(categorical shift)がなされた場合、そこには、聞き手に対する話し手の何らかの特別な伝達意図が含まれ得ると説明する。つまり、既知関係における聞き手指示方法が一時的に「あなた」にシフトする際には、話し手が聞き手に対して、この瞬間は普段とは違うということを伝えるため、意図的に選択している場合があると考えられる。本研究では、このような「あなた」の使用について、話し手が聞き手に対して普段とは異なるスタンスを示していると解釈する。そして、「あなた」の変異形である「あんた」との比較を通し、各表現の使用者が聞き手に対するスタンスを示す際、どのように異なるのかについて「品位」という観点から社会語用論的に考察し、その発話意図と「あなた」の使用から見えてくるキャラクター性を明らかにする。また、既知関係における一時的な「あなた」の使用を見るため、本研究では人物間の関係の把握が比較的容易である日本のテレビドラマからの用例を中心に分析する。

### 2. 「あなた」について

先述のように、「あなた、あんた、きみ」などのような表現は、個人差は考えられるものの、知人に対する無標の聞き手指示方法とは考えにくい<sup>1</sup>。実際に、知っている相手のことを指す場合、その人物の名前(固有名詞)や親族名・役職名(普通名詞)などのような表現を用いることが一般的である。小林(2016)では、談話資料(現代日本語研究会, 2016)に出現する「あなた」の使用意識について、年齢や地位の上下による選択の意識があると述べており、使用文脈としては、相手への指示・批判などの文脈が目立つ点から、近い相手ではあるが、上位的立場に立つからこそ、指示・批判などが遠慮なく行えると分析している。また、「あなた」の使用に関するアンケート調査を行った米沢(2016)では、同等以下の相手に対する「あなた」の使用場面として、アドバイスをする場面が最も多く、その一方「あなた」の不使用の理由としては、相手と距離を作るためだというタイプが多く見られたと報告している。これらから、話し手は聞き手に一種の「不満」を表示したい際、一時的に「あなた」を使う場合があると考えられる。そして、その「不満」は相手へのアドバイス・批判などにつながることであり、また、これは話し手の聞き手への「スタンスが有標」であることを示していると言える。聞き手への不満のスタンスを表示するため、普段の呼び方ではない、相手に距離を置く「あなた」を一時的に用いることであり、このような友好性または親密性の欠けているスタンスに基づく「あなた」の使用は、キャラクターが成立しやすいと言える。以下では、これについて用例を基に分析および考察する。

1 妻が夫を呼ぶ際の「あなた」など、「あなた、おまえ」などの語類が無標の呼称として考えられる場合もあるが、小林(2016)によると、談話資料(現代日本語研究会, 2016)における出現数の少なさからも分かるように、夫婦における「あなた」と「おまえ」は旧来的なステレオタイプだと言えるとしている。

### 3. 分析データ

「あなた」の発話意図とその使用から見えてくるキャラクタ性の考察のため、本研究では、職場を舞台とする日本のテレビドラマからの用例を収集及び分析した。これは、「あなた」が話し手の同等以下の人物に対して指示や忠告などができる場合での使用が多いことから、学生などによる使用よりは、部下・後輩または同僚の存在が想定できる上位者、つまり「大人のワード」だという特徴が考えられるためであり、そこで銀行と出版社という職場が舞台となっている『半沢直樹2013(以下、半沢とする)』と『地味にスゴイ！校閲ガール・河野悦子2016(以下、校閲とする)』の二つの作品を選別した。そして、登場人物のうち、同等以下の人物に対する不満を示す際「あなた」の使用が見られた人物の使用例を選別し、さらに、普段は聞き手のことを名前で表す話し手が、一時的に「あなた」を使う用例を収集した。以下の表1に、分析するデータの詳細を示す。

表 1 分析データの詳細

	「あなた」の 使用者、話し手	聞き手	話し手の聞き手 に対する 無標の呼び方	「あなた」の 共起文体	「あなた」の 使用場面
『半沢』	銀行の支店長A (男性, 50代)	同じ支店の融資課長B (男性, 40代)	半沢君, きみ	敬体(1)	仕事に関する話(1)
『校閲』	出版社校閲部の 社員C, 先輩 (女性, 30代)	同じ部署の 新入社員D, 後輩 (女性, 20代)	河野さん	敬体(6) 常体(1)	仕事に関する話(5) 雑談(2)

( )は出現数

### 4. データの分析と考察

#### 4.1 「あなた」

まず、各ドラマからの「あなた」の用例を一部示す。

(1) 「間違えているのはあなたです。

そうやって自分のミスを他人のせいにするのはよくないですねえ、半沢融資課長！」 『半沢』

(2) 「校閲とは、本造りを陰で支える存在です。(中略)

あなたのように作家と直接会うべきではないし、ましてや編集者のように内容に口を挟み、新たなアイデアを出すなんてもってのほかです。」 『校閲』

(3) 「今日のあなたの服装はとても仕事向きの服装とは思えませんが。」 『校閲』

(1)は、話し手Aから聞き手Bに対する「あなた」の使用例であり、銀行の融資損失を部下であるBの責任にするため、Aが計画した国税調査に備えるように指示するが、何かの間違いではないかと聞くBに対するAの発話であり、普段の呼び方である「半沢君, きみ」の代わりに「あなた」を選択している。(2)と(3)は、話し手Cから聞き手Dに対する「あなた」の使用例であり、(2)では、編集部と校閲部の仕事をわきまえていないDの行動を望ましくないと判断したCの発話であり、(3)は、仕事に向いていないDの服装を指摘するCの発話であり、どちらも普段の呼び方である「河野さん」の代わりに「あなた」を選択している。そしてこれらは、話し手が聞き手に対して何らかの不満を示す場合であり、(1)では、Bを外向させようとするAと、それに頑固に耐えるBは、融資損失事件が起こる前の上司と部下という関係から対敵関係に移ったと見ることが可能であり、自分の計画通りに動かないBに対するAの不満・望ましくないとするスタンスが考えられる。(2)と(3)でも、Dの仕事や仕事への姿勢に対するCの不満のスタンスが考えられる。そして、不満のスタンスを持つことは、普段の聞き手との関係と離れたいことにもつながり、そのような聞き手への距離感を示すため、AとCは、相手に距離を

置く「あなた」を選択していると考えられる。この距離を置く機能は、滝浦(2008)による「遠隔化<sup>2</sup>」としても考えられる。

一方、「あなた」の選択による有標性について、表1の項目の中の「無標の呼び方」とも関連させて考えたいと思う。各ドラマの中で、普段話し手は聞き手のことを「名字+敬称」の形で呼んでおり、中年男性同士の対話が多い『半沢』では、「きみ」も使われていた。そこから、話し手における「あなた」の使用は有標性を帯びることになるが、話し手AとCの年齢とジェンダー、また職場での職位などの違いから、AとCの聞き手BとDに対する対称詞の選択可能範囲が異なることが考えられる。そして、職場での話し手AとCの聞き手BとDに対する呼び方について、実際に出現しなかったものまでを範囲に入れて想定してみると、以下のように考えられる。

- (4)A→B: 半沢, 半沢さん, 半沢君, 半沢融資課長(会議などの場合), あなた, きみ, あんた, おまえ等  
C→D: 河野, 河野さん, あなた, あんた等

(4)から、AとCのBとDに対する呼び方の選択肢の範囲が明らかに異なることが分かる。これは、AとCにとって「あなた」の使用が有標ではあるが、その有標性には程度差、つまり、段階性があると言える。特に、Aは「あなた, きみ, あんた, おまえ」の四つがすべて使用可能であり、その中でも男性同士に使える「きみ」を多用しているため、選択肢の対立による「あなた」の使用の有標性が高まり、これは「あなた」の使用の少なさにもつながると考えられる。つまり、発話場面に加え、話し手と聞き手のジェンダーや年齢などの諸要素が「あなた」の有標性をより際立てると言える。

## 4.2 「あんた」との比較

次に、「あなた」の変異形である「あんた」との比較を行う。分析対象のドラマの中のAとCによる「あんた」の使用は、以下の(5)の例のみであった。

- (5)「勘違いしないでください。別にあんたのためじゃないから。」『校閲』

(5)は、Dのミスに校閲部の社員たちが対応している最中、休暇中だったCが復帰するのを見たDが感謝と詫びの気持ちを伝えた際のCの発話である。そして、CとDにおける(5)の直前の文脈が、(6)となる。

- (6)「私があなたのことを妬む？そんなわけがないでしょ？バカも休み休みに言いなさいよ！」『校閲』

(6)は、Dの仕事の方法に関して忠告をしたCに、Dが実は嫉妬しているのかと聞くと、Cが怒りを表出する場面であり、Cが自分の感情を強く表出している場面だと言える。そして、表1での「あなた」が常体と共起した唯一の例でもある。また、(6)でのDの強い怒りの感情は、(5)の場面で結局ミスを犯したDへのマイナスの感情の表出につながっていると言える。つまり、「あなた」の使用による不満の表出が、(6)のように強い感情の表出となることがあると言える。そして、「あんた」は話し手の感情を表出する点で、「あなた」と共通する部分があるとは言えるが、これらからは敬体と常体という、共起文体の違い<sup>3</sup>が考えられる。そこで、この違いについて「品位」という観点から考察する。

2 滝浦(2008)では、Brown&Levinson(1987)によるポライトネス理論から対人関係の言語表現に関する「距離」の理論が生まれると説明し、対人関係における配慮すべき要素をフェイス(face)だとする場合、その対人関係の距離に関わる社会制度としては、文化人類学での「冗談関係・忌避関係」の区分があると説明する。冗談関係(joking relationship)は、冗談を言ったり、冷やかしたり、悪態をついたりすることが許される関係(典型的な関係: 祖父母と孫)であるのに対して、忌避関係(avoidance relationship)は、避けたり尊敬することが義務付けられている関係(典型的な関係: 義理の母)であり、この冗談・忌避関係がおのおのの対人関係における距離の「近接化」と「遠隔化」を導き、言語においても同様の機能を果たす道具立てが発達すると説明している。

3 小林(2016)では、「あなた, きみ, あんた, おまえ」の使用におけるステレオタイプのうち、共起文体について、「あなた, きみ」は敬体・常体と共起し、「あんた, おまえ」は常体のみと共起すると説明している。

### 4.3 品位との関係

言葉遣いによる話し手の品位の調整が最も容易に見られる言語形式としては、「文体」における敬体と常体の中の選択が考えられる。先述のように、「あなた」は敬体・常体と共起するのに対して、「あんた」は常に常体と共起すると言える。そして、「あなた」は聞き手に対する不満を表示するという、話し手の有標のスタンスを示すと述べたが、このスタンスを示す際、「あなた」の使用には有標な場面においても「品位を保つ理性的・中立的な上位者」でありたいという発話意図が反映されているのに対して、「あんた」は品位を犠牲にしてまで伝えたい本音を言っているという意図が考えられる。そして、「あなた」の場合、遠隔化によって相手に一時的に距離を置くことによって、話し手は「不満を理性的に言う品のある上位者」を演じていると考えられる。加藤(2019)では、ある集団の中で見られる多様なキャラクターについて、似たような属性を持つ者が集まる職場の中では、自然にキャラクターの分担が生じるが、それが本来の人格につながる場合も、場面ごとに異なる場合もあると説明する。本研究での「あなた」の使用によるキャラクター性の表出は後者の方である可能性が高く、話し手は不満という普段とは違うスタンスを伝えるやや特殊な場面でも、品位を保ちながら、自分は指摘やアドバイスなどができる上位の立場にあることを聞き手に伝えていると考えられる。

## 5. おわりに

本研究では、日本語の「あなた」が話し手と同等以下の人物に対する一時的な有標のスタンスを示すという、やや特殊な場面においても、「品位を保ちたい」という発話意図から、「品のある理性的上位者」というキャラクターを一時的に演じていることを考察した。今後の課題としては、(5)と(6)のように、「あなた」と「あんた」から見られる「感情の表出」という部分の連続性の論証と、より多様な場面での「あなた」の使用を分析し、その発話意図を明らかにしたいと思う。

## 参考文献

Brown, P. , & S. C. Levinson (1987).

*Politeness: Some universals in language usage*. Cambridge, Cambridge University Press.

現代日本語研究会 (2016). 談話資料日常生活のことば ひつじ書房

加藤重広 (2019). 言語学講義—その起源と未来— ちくま新書

小林美恵子 (2016). 「日常生活」の呼称 ことば, 37, 14–32.

澤田淳 (2019). 親族名称の子供中心的用法の類型と場面, 視点—対照語用論的アプローチ— 澤田治美・仁田義雄・山梨正明(編) 場面と主体性・主観性 ひつじ書房 pp.107–159.

滝浦真人 (2008). ポライトネス入門 研究社

米澤陽子 (2016). 二人称代名詞「あなた」に関する調査報告 日本語教育, 163, 64–78.

## 分析用例

TBSテレビ『半沢直樹』(2013)

日本テレビ『地味にスゴイ! 校閲ガール・河野悦子』(2016)